

— 3月の日々に —

3月になると、6年生の教室に「卒業までのカウントダウンカレンダー」が毎年掲示されます。毎日が過ぎていくはやさに驚き、だからこそ6年生と共に過ごせる毎日を大切にしたいと思いが強くなります。

毎朝、恵田っ子達と登校後、しばらく運動場で野鳥の声を聞いていると、ガラガラと一輪車のチエーンを外す音、国旗掲揚塔の旗を揚げる音が聞こえてきます。誰かが来られない時は、何も言わず代わりに仕事を務めてくれるのが当たり前の日々でした。6年生4人は、いつもそっと、でも確かに学校を支え引っ張って行ってくれる存在でした。思えば、彼らは入学してから卒業まで、すべてを4人で乗り越えてきた恵田っ子です。一人一人の個性を尊重しあい、自分の考えを言葉にして伝えあえる恵田っ子でした。教室の前を通ると、

「でもね、それは違うと思うなあ。」 「うん、ほくもそれでいいと思うよ。」…

つい足をとめて耳を傾けてしまう、仲のよい4人の話し声が聞こえてきました。

最近、休み時間に運動場で6年生と一緒にサッカーをするのが恵田っ子達の楽しみになりました。全校の子ども達と一緒に、仲良く楽しく遊ぶ姿をみるたびに、恵田小学校の素晴らしさを実感するのです。このまま時間がとまって欲しいな。そんなことを想う3月でした。これから彼らが歩む道のりには、必ず困難や悲しみもあるはずですが、しかし、数えきれない人たちに愛され育まれてきた4人の卒業生は、しっかりと自分の人生を歩んでいってけると信じています。

出逢った人がみなあなた達を好きになり、

心から応援したくなる 令和4年度 第76回卒業生です。

命を守る看板をありがとう

ぼくらは きっと 待ってる
君とまた 会える日々を

さくら並木の道の上で
手を振り 叫ぶよ



恵田っ子が毎日安全に登下校できるようにという願いを込めて、卒業生が安全を呼びかける看板を作成してくれました。これから毎日この看板を見るたびに後輩の恵田っ子達は、4人の笑顔や命を大切にしてくことをきっと思い出します。心よりありがとうございます。